

# 心ひとつに

弥富市立桜小学校  
学校だより  
No.1  
平成26年4月14日

## 一期一会一出会いを大切に！

下記のように3人の先生がご退職され、新たに3人の新しい先生にご転入いただきました。3人のご退職された先生方、桜小学校と桜小学校の児童のためにご尽力いただき、本当にありがとうございます。また、転入された3人の新しい先生は、桜小学校に新風を吹き込み、ご活躍いただけたらと思います。

### 【転退職】

上田 邦人教諭、佐藤 裕子教諭、黒川 経子教諭

### 【転入者】

小久保元子教諭（豊川市立長沢小より）、青木 博史教諭（美和東小より）  
藤松 千尋教諭（新任）

## 全校朝礼の話より（4／14）

新年度が始まって先週1週間が過ぎました。校長先生は、ときどき、各教室の前を通ったり、教室の中に入って、桜小のみなさんの授業の様子や給食の様子等を見て回っています。

その中で感心したことがあるので紹介します。そのひとつは、1竹の子が、「トイレのスリッパがぐちゃぐちゃだよ」と言ったので見てみると、全部のスリッパがぐちゃぐちゃになっていました。あまりにもひどい状態だったので、1年生の先生に知らせようと教室の前まで行ったところ、その子が戻ってきて「そろえておきました」と報告してくれました。「ありがとう、偉かったね」と校長先生は、その子に言いました。

また、1年生の清掃や給食を手伝ってくれる6年生の子についてお話します。とても丁寧に、優しく、清掃の仕方や給食について教えてくれています。「ちゃんと教えてくれて、ありがとう」と、校長先生は6年生の子に感謝の気持ちを伝えました。桜小学校のリーダーとしての立派な姿を見せてくれています。本当にありがとう。

今日のお話は、「ありがとう」と言うあいさつについてです。実はこの言葉は、もともとは「有り難し」という言葉からできました。「有る」ことが「めずらしい・貴重です」という意味です。今から1000年前に書かれた「枕草子」という本の中にもめったにないという意味で「ありがたきもの」と書かれていました。

このように、「ありがとう」という言葉には「あなたがしてくれたことは、私が思っていたよりも素晴らしいことです。心から感謝しています」という気持ちが入った言葉なのです。

相手に対して、「ありがとう」と素直にいうことができる人は、とてもすてきな人です。朝のあいさつ、帰りのあいさつもそうですが、「ありがとう」とあいさつできる桜っ子の皆さんでいてほしいと思います。

## 5年生の児童のお手紙より

5年生の児童の日記に校長先生へのメッセージを書いてくれた子がいました。校長先生は、とても嬉しい気持ちになりました。以下に紹介します。

- 校長先生、いつもありがとうございます。4年生のときは、大変お世話になりました。5年生になり、高学年になりました。校長先生は、笑顔いっぱい校長先生ですね。いつもありがとうございます。そして、今後もよろしく願います。
- 3年間連続でお世話になります。ぼくは、校長先生に会えてうれしいです。なぜかと言うと、ぼくは、最初に校長先生が入ってきたとき、なれていませんでした。しかし2か月くらいたって、少しなれてきて、あいさつを試みました。すると、校長先生は、げんきよく「こんにちは」と応えてくれました。本当にうれしかったです。今は、学校が楽しいです。これからめいわくをかけるかもしれないですが、よろしく願います。
- いつもお世話になっています。児童朝礼などでは、いろいろなお話をしてくださり、本当にかんしゃしています。本当にいつもありがとうございます。